ご購入に当たっての主なリスク・手数料・ご留意事項について

主なリスクについて

- 債券は、発行体の財政状況の変化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じる等のリスクがあります。
- 債券の価格は市場金利の変動等により上下するため、償還前に売却する場合、投資元本を割り込むことがあります。
- 債券は、市場環境の変化により流動性（換金性）が著しく低くなった場合、償還前に売却できない可能性があります。

手数料等諸費用について

- 本債券のご購入に当たっては、購入対価のみのお支払いとなります。

利子の課税について

- 個人のお客様が受け取る利子については、20.315%の税金が差し引かれます。
- 一定の条件を満たす方は、所定の手続きによりマル優・特別マル優制度をご利用いただける場合があります。詳しくは各取扱金融機関にお問い合わせください。

ご購入対象者について

- 本債券をご購入いただけるのは、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住または在勤・在学の個人の方、同エリア内に主たる事務所・事業所を有する法人・団体です。未成年の方が購入する場合は、親権者の同意等の手続きが必要となりますので、詳細は各取扱金融機関にお問い合わせください。

額面10万円からご購入いただけます

- 10万円から1億円まで10万円単位でご購入いただけます。

その他のご留意点

- 販売額には限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。
- 社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用がある地方債であるため、券面は発行されません。
- 本債券は預金ではありませんので、預金保険制度の対象にはなりません。
- ご購入に際しては、各取扱金融機関にてお配りしている「契約締結前交付書面」等をよくお読みいただき、必ず内容をご確認いただきますようお願いいたします。

取扱金融機関一覧

金融商品取引業者	登録名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会	電話番号
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	○	0570-077-000
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○	○	0120-010101
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○	○	0570-000-324
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2336号	○	○	○	○	○	0120-532-346
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	0120-250-438

○印：加入している協会



第10回

東京グリーン・ブルーボンド（円貨）

あなたの資金が、
東京の環境と未来をまもります。

募集期間 2026.11.24（火）-12.15（火）

※市場環境等の変化により発行予定が変更になる場合がございます。

期間 5年

募集要項

ご購入対象者	東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住または在勤・在学の個人の方、同エリア内に主たる事務所・事業所を有する法人・団体 ［未成年の方が購入する場合は、親権者の同意等の手続きが必要となりますので、詳細は各取扱金融機関にお問い合わせください。］
利率	2026年11月20日（金）決定予定 取扱金融機関にお問い合わせください。 都ホームページにも掲載いたします。
発行日	2026年12月16日（水）
購入単位	10万円単位
利払日	年2回/6月・12月の各16日 （休日の場合は前営業日） 初回利払日は2027年6月16日（水）です。
ご購入限度額	お一人さま/一団体あたり1億円まで
発行価格・償還価格	額面100円につき100円
償還日	2031年12月16日（火）

ご購入いただいた方の中から、抽選（応募不要）で200名様に
「東京・ミュージアム ぐるっとパス2026」をプレゼントいたします。

※詳細は取扱金融機関より別途お知らせします。

「東京グリーン・ブルーボンド 個人向け」で検索

東京グリーン・ブルーボンド 個人向け 検索

みどりと生きるまちづくり
TOKYO GREEN BIZ

充当予定事業一覧（機関投資家向け＋個人投資家向け）

グリーンプロジェクト

No	環境事業区分	事業名	対応SDGs目標
1	エネルギーの脱炭素化と持続可能な資源利用によるゼロエミッションの実現	ヒートアイランド現象に伴う暑熱対応（遮熱性・保水性の向上）	
2		都有施設の改築・改修等（太陽光発電設備の導入等※）	
3		都有施設・道路の照明のLED化	
4		ゼロエミッション・ビークル（ZEV）の導入	
5		都有施設のZEB化推進	
6		水道施設の省エネ化	
7		下水道事業におけるエネルギー・地球温暖化対策	
8	生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	水辺空間における緑化の推進	
9	都民の安全・健康が確保された、より良質な都市環境の実現	外濠の水辺再生事業	
10		環境にやさしい都営バスの導入	
11		林道の整備	

※都有施設の改築・改修等（緑化整備）は環境事業区分「生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現」に分類

ブループロジェクト

No	環境事業区分	事業名	対応SDGs目標
12	生物多様性の恵みを受け続けられる、自然と共生する豊かな社会の実現	東京港藻場創出活動	
13		ブルーインフラの整備	

充当事業紹介

都有施設における太陽光発電設備の導入



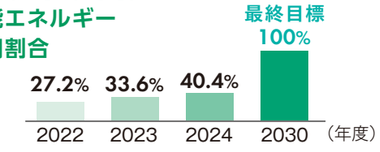
- 建物を数多く有する東京は太陽光発電設備の設置ポテンシャルが高く、建物使用者にとっても、レジリエンス向上や経済性の面でメリットがあります。
- 東京都自らが太陽光発電設備の設置を率先することにより、都民や企業、団体等の共感を得られるよう推進しています。

太陽光発電設備累計設置量の状況

都有施設太陽光発電設備累計設置量(kW)

直近累計実績	政策目標	
44,476kW（2024年度）	74,000kW（2030年度）	※2025年度末実績は集計中

都有施設（知事部局等）の再生可能エネルギー電力利用割合



ゼロエミッション・ビークル（ZEV）の導入



- 走行時にCO_2等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）等をゼロエミッション・ビークル（Zero Emission Vehicle）と呼びます。
- 都内CO_2排出量のうち、「運輸部門」の排出は約2割を占めており、CO_2等排出削減のため、東京都は率先して庁有車や都有施設における車両のゼロエミッション化を進めています。

2026年度における環境効果（試算値）※

排出ガス規制対象物質 削減率（%）

PHV	EVバイク
CO_2 25.6%削減	NOx CO HC 100%削減

※従来の車両と新規に導入される車両の排出ガス規制対象物質の差分により削減率を試算

外濠の水辺再生事業



- 外濠浄化の推進を契機として、外濠が玉川上水や荒川とつながることにより、玉川上水や荒川から外濠、神田川、日本橋川、隅田川を経て東京湾へと至る水の流れを形成することで水質を改善し、自然と調和した「水の都」東京をよみがえらせることを目的としています。
- 歴史的財産である外濠等の水質改善を進め、都心で働く人々に癒しの場を提供するとともに、江戸から続く歴史や知恵を生かした品格ある景観を形成し、魅力あるまちづくりへつなげていきます。さらに、日本橋川のにぎわい創出に関する取組と連携していきます。

整備目標

水面の面積（ha）

政策目標 8.3ha（2030年代半ばまで）

東京港藻場創出活動



- 東京港は、都心に近接した貴重な水辺空間を有しています。東京都では、こうした水辺空間における豊かな海域環境の創出に向け、多様な生物の生息の場である藻場の創出に取り組むこととしています。
- また、東京港は、夏場の濁りや高水温など、藻場の生育には厳しい環境であるため、藻場の創出を推進するに当たっては、人の手による移植が必要です。
- 都民や民間団体との協働によりアマモなどの移植を進め、海の豊かさを実感できる環境学習の場として活用しながら、継続的な藻場の創出を推進します。

東京都のブルーボンドについて

- ブルーボンドとは、グリーンボンドの1つであり、海洋環境の保全等に資する事業に調達資金使途を限定したものです。
- 東京都のブルーボンドは、2023年にICMA等が公表した「持続可能なブルーエコノミーの資金調達に向けた債券ー実務者ガイド（SBEガイド）」に基づいている旨の評価を第三者機関より取得しています。



（写真はイメージです）

詳しくは東京都財務局HPにて公開！ https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/bond/tosai_gb/gb